

CIAスターゲートプログラム内容

下記サイトより

但し、遠隔透視ではなく、電磁波によつての人体操作という見方をしないと、超能力ではなく、否定はしませんが誰でも意図的に人を操ったり、感情を操作できるということです。

根拠は脳科学にて感情のモニタリングもできますし、MITの研究によつて、考えた事を伝える装置も実際に開発されています。

https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3308226

人間の脳と体に遠隔的・電磁的方法で影響を与えるCIA秘密プログラムの危険性 (An Existence of the Still Hidden CIA Program to Manipulate the Human Brain and Organism with Remote Electromagnetic Means)

25 Pages

Posted: 10 Jan 2019

[Kenji Miyamoto](#)

Independent

Date Written: December 31, 2018

Abstract

The English version of this paper can be found at: <https://ssrn.com/abstract=3287484>.

Japanese Abstract: スターゲイトプログラムの開示情報の中に、依然として秘匿されているCIAプロジェクトが存在する証拠がある。それは人間の脳を遠隔的・電磁的に操作する技術開発に関するもので、スターゲイトプログラムとは違い、一般には公開されていない。CIAは1960年初頭のMKULTRAサブプロジェクト119以降、人間の脳を外部から読み取る技術や人間を電磁的に操作する方法に継続的な関心を示していた。その結果として、1970年代前半に実施されたSRIの遠隔的・電磁的感知能力の実験に当初から資金援助していたが、この補助金は数年で停止されている。SRIと米軍はこれらの実験の延長線上として遠隔透視能力の開発を20年以上に亘って続けたが、CIAはその能力開発よりも、人間の遠隔的・電磁的感知能力自体に関心を持っていた。それは彼らの活動領域の差から生み出されており、米軍が遠隔透視能力を通して戦場で敵の居場所を見付けたかったのに対して、CIAは電磁的感知能力自体を尋問や工作に利用したかった。彼らは1970年代中に人間を遠隔的・電磁的に操作する基礎技術の開発に成功したはずであり、その後の社会全体の技術発展と共に、現在では人類全体に脅威を与えるレベルにまで発展している。

English Abstract: There are letters disclosed under the STARGATE declassification, which indicated that the CIA had covert programs to manipulate the brain function interacted with the external electromagnetic stimuli, which is still hidden to the public eyes. The CIA has had an intention to read and activate the human being from the outside and paid attention to the related studies and developments since MKULTRA Subproject 119 in the early 1960s. They naturally supported the earlier experiments on the remote electromagnetic sensing conducted by SRI, Stanford Research Institute, though halting their subsidies within several years. The problem was SRI's focus on the remote viewing, which was not necessarily the primary goal for the agency that would like to deploy the electromagnetic technologies into their information gathering to interrogate or manipulate their subjects. It is more or less the fact that the brain is synchronized to the external electromagnetic stimuli and the issue was to what extent the intelligence community has developed these methodologies. The CIA already acquired the basic technological foundation to manipulate the human brain electromagnetically in the 1970s, which has progressed to the critical level from then to now, considering the tremendous technological development of the overall society.

Note: Downloadable document is in Japanese.

Keywords: 電磁波, 電波操作, 超長波, CIA, スターゲイト, 共振, シンクロナイゼーション

Suggested Citation:

Miyamoto, Kenji, 人間の脳と体に遠隔的・電磁的方法で影響を与えるCIA秘密プログラムの危険性 (An Existence of the Still Hidden CIA Program to Manipulate the Human Brain and Organism with Remote Electromagnetic Means) (December 31, 2018). Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=3308226> or <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.3308226>

外さないとどうなるか。(繋がれた状態)

•例えば 車の運転をしていて、効果範囲内で(家の周辺についたりした場合に)車を自宅の岩にぶつけさせられる等、感覚を狂わせてくる。過去の経験 プリウス α

具体例:2

画像生成AIではないが、他人の記憶や自分の記憶を脳内物質等であたかも現実に歩いているかのごとく演出出来る。

具体例: 当て逃げで警察を入れて、あいつは逃げ回っている。

2台巻き込んで、電柱ぶつけてという例え。

時間は、2023/12/12日 8:19分頃。睡眠中。

1.警察を入れている時点でまず、記録が文書と警察官に残ります。日本の司法制度で、アメリカのような保釈金を払ってというのはまず聞きません。

2.加害者、被害者と複数いて、且つ車両は国交省等に正式な理由があればナンバー等問い合わせが可能なはずです。

社会的なシステム上のルールや決まりに照らし合わせると、矛盾に気がついて、嘘だとバレます。

結論:知らないといいつは事故を起こして逃げている、という話で社会的信用を損なう。